

最終更新日時: YYYY/mm/DD 更新者: ○○

1. プロジェクトの背景

○○図書館様は、これまで書庫の管理を紙媒体で行ってきたが、在庫の有無や場所の把握に時間がかかることを課題に感じられています。蔵書の管理をコンピューターで管理することによって、利用者様及びスタッフが容易に蔵書検索できるようにしたい

2. テスト計画の目的

- テスト方針やテスト戦略の明示
- 成果物に求められる品質基準の設定
- 品質基準を満たすための具体的なテスト方法の明示
- チームメンバーやその他のステークホルダー間の認識共有

3. テストの目的

○○社のビジネスに貢献するアプリケーションを開発するため、定めたアプリケーションの品質基準を満たしていることを担保すること

4. テスト対象と観点

対象	観点
仕様書	正確性、明瞭さ、可読性
テスト設計書	正確性、明瞭性、網羅性、可読性
ソースコード	機能と非機能、コードの保守性
システム全体	機能と非機能

※外部システムの動作自体はテスト対象外とする

5. リスクと対策

内容	重要度 (P1>P2>P3)	対策
お客様がシステム開発に慣れていない	P1	打ち合わせ用の資料はできるだけ専門用語を避け、注釈や模式図を用いること。受入テストは、弊社もサポートすること
開発者の知識・経験の差異	P1	未熟な開発者は、バッファを多めにとり、さらに各工程でのレビューで、未熟な開発者同士のレビューを避けること

内容	重要度 (P1>P2>P3)	対策
開発の遅延	P1	要件定義で機能ごとに重要度をつけ、遅延が発生した際にも主要な機能は使えるようにする
6月からの改修工事 (1ヶ月間)	P2	重要又は緊急度の高い機能の設計やテストデータのご提供、受入テストがこの時期に被らないように調整する

6. 方法

1. テストデータ

以下2つを〇〇図書館様にご用意いただきます。

- 蔵書データ
- スタッフデータ

2. テストツール

項目	ツール名	テストレベル	備考
テストランナー	xunit	単体テスト	単体テストやE2Eテストで使用する
ダミーデータ作成	Bogus	システムテスト	ダミーデータの作成に使用する
仮想環境	Hyper-v	システムテスト	お客様環境を再現する際に使用する

~~

3. テストスケジュール

テスト	期間
設計書、仕様書レビュー	mm/DD ~ mm/DD
システムテスト設計	mm/DD ~ mm/DD
単体テスト	実装時
結合テスト	実装時
システムテスト	mm/DD ~ mm/DD
受け入れテスト	mm/DD ~ mm/DD

但し、機能の優先度やプロジェクトの進捗状況等を考慮したうえでの作業の入れ替えは許可する

4. 品質ゲート

各テストレベルでの通過条件を示します。

1. 設計書、仕様書レビュー

- 定められた設計書 又は 仕様書が作成されていること
- 開発者 及び ○○社のシステム担当が内容を理解できること
- 作成された設計書、仕様書を基にシステムを開発できること
- 作成された設計書、仕様書を基にテストケースを設計できること

P1機能については、以下の書類の作成を必須とする。

- ユースケース図
- 外部設計書
- ER図
- 画面遷移図

2. 単体テスト

- ビジネスロジックに対して単体テストが実装されていること
 - テスト技法を用いて可能な限りカバレッジを高めること（100%ではなくても良い）
- 実装されたテストケースに可能な限り合格すること
- テストに失敗し、かつ修正しない場合はその理由をコメントで明記すること（例, issueXXで本メソッドを修正する際に合わせて修正すること）

3. 結合テスト

- 外部システムとの連携箇所で、引数に対して期待する値が返されることを保証すること
- 実装されたテストケースに可能な限り合格すること
- テストに失敗し、かつ修正しない場合はその理由をコメントで明記すること（例, issueXXで本メソッドを修正する際に合わせて修正すること）

4. テスト設計（システムテストおよび受入テスト）

- テスト実行者 及び 開発者が理解できるよう記載されていること
 - 但し、機能の重要性や進捗状況に応じて多少の明瞭度のブレは許容する
- 各テストケースに、優先度、実行日、結果、備考が記載されていること
- 1人以上のレビュアーがレビューを行っていること

5. システムテストと受入テスト

- 設計されたテストケースを全て実行すること
 - 但し、優先度、リスク、進捗状況を加味したうえでの対応時期の調整は行うこと
- 実行されたテストケースに全て成功すること
 - 但し、優先度、リスク、進捗状況を加味したうえでの対応時期の調整は許可する